

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 養老公園維持管理費（維持補修費以外）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

都市建築部 都市公園整備局 都市公園課 活用推進係

電話番号：058-272-1111(内 3772)

E-mail：c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,131千円（前年度予算額：4,566千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,566	0	0	0	0	0	218	0	4,348
要求額	4,131	0	0	0	0	0	218	0	3,913
決定額	4,131	0	0	0	0	0	218	0	3,913

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

経緯

養老公園はサクラ、モミジとならびアカマツの名所となっているが、松食い虫の被害が問題となっており、松枯れ被害が増大傾向にあることから、松枯れ対策を順次進めている。

現状

アカマツ林が松食い虫による食害により、毎年50～100本程度が枯損しており、枯損したアカマツをそのまま放置すると被害が更に広がり、腐食による倒木の発生により、来園者に危害が及ぶ恐れがある。そのため、害虫であるマツノマダラカマキリを広域的に駆除し、松枯れ被害に対する対策を講ずる必要がある。

目的

伐採処分による枯損の拡大防止を図る。

(2) 事業内容

公園内樹木の松食い虫防除等

経費内容 樹木伐採 9 本

樹幹注入 36 本

経費内訳 伐採処分費 3,865 千円

公園施設に必要な土地の借上料等

経費内訳 土地の借上料 1 式

経費内訳 土地の借上料 266 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県 (3,865 千円)、国有地使用者 (266 千円) 負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,865	枯損したアカマツの伐採費用
使用料賃借料	266	国有地及び民有地の借り上げ料
合計	4,131	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

快適かつ安全な公園管理のため、継続的に費用の確保が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業
継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 水や大気などの自然環境に関する啓発、教育を進め、自然環境の保全に関する県民意識を高め、良好な環境を維持します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

指標を設定することができない場合の理由

松食い虫により枯損したアカマツの本数の把握及び予測が困難であるため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 松食い虫により枯損したアカマツの伐採
 令和元年3月末現在 9本
 松食い虫により枯損したアカマツの樹幹注入数
 令和元年3月末現在 36本

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 (1) 枯損したアカマツの倒木や枝落ちによる事故防止
 (2) 枯損の拡大防止により、県の「大気環境木のある風景10選」に選定されている景観の維持

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ：必要性が高い、：必要性が低い 	
(評価)	松食い虫被害にあったアカマツを伐採することで、周辺樹木への被害拡大が抑制され景観の維持ができ、枯損したアカマツによる倒木や枝落下等の事故を未然に防止できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	松食い虫被害にあったアカマツをピーク時には年135本もの伐採処分を行ったが、最近では年に40本程度まで被害木を減少させることができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ：効率化は図られている、：向上の余地がある 	
(評価)	来園者への危険性が高い箇所から優先的に伐採し事故防止を図った。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後も松食い虫によるアカマツの被害が予想される。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 公園の景観の維持、倒木や枝落下等の事故防止のために引き続き取り組んでいく。 これまでよりも樹幹注入を強化し、松枯れを未然に防ぐ取組みをさらに進めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 県営都市公園多言語ポータルサイト構築運用事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部都市公園整備局 都市公園課 活用推進 電話番号：058-272-1111(内 3772)

E-mail: c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,268千円(前年度予算額：1,268千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,268	0	0	0	0	0	0	0	1,268
要求額	1,268	0	0	0	0	0	0	0	1,268
決定額	1,268	0	0	0	0	0	0	0	1,268

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

高い集客ポテンシャルを有する県営都市公園の活性化のため、平成28年10月に岐阜県都市公園活性化基本戦略を策定した。(対象：花フェスタ記念公園、養老公園、世界淡水魚園、ぎふ清流里山公園)

戦略において、県営都市公園が広域交通ネットワークの進展と立地優位性を最大限に発揮し、各公園を結び、「清流の国ぎふ回廊」を形成する拠点としての機能を担い、また「清流の国ぎふ」の魅力を感じることができるような県営都市公園統一のブランドを確立し、国内外に積極的に発信していくための取組の一つとして、多言語ポータルサイトの構築があげられている。

現在は各公園のホームページでの情報提供にとどまっており、県営都市公園が連携した情報発信やブランドの構築、また多言語による情報提供が不足している。

(2) 事業内容

岐阜の県営都市公園に関する基本情報を一元化・多言語化し、利用者に向けたより効果的な情報発信を行うことを目的として、外部サーバーを用いたウェブサイトの構築・運用を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

戦略に基づく活性化事業であり、県が主体となって実施する。

(4) 類似事業の有無

有：移住定住ポータルサイト構築運用事業費

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,268	保守委託
合計	1,268	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県都市公園活性化基本戦略
- ・岐阜県成長・雇用戦略

7 成長分野ごとの施策 (3) 観光分野

主要観光地再生プロジェクト (1) 県営公園誘客促進プロジェクト

(2) 後年度の財政負担

平成 28 年度に策定した基本戦略に基づき、ソフト・ハード両面において、活性化策に継続して取り組んでいく。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業
継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・県営4公園それぞれの入園者数を次期戦略の終期（令和7年度）までに、底上げを達成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移			現在値	目標	達成率
		(H29)	(H30)	(R1)	(前々年度末時点)		
来園者数	(H26)	(H29)	(H30)	(R1)	(R1)	(R3)	-
養老公園	80万人	120万	125万人	137万人	137万人	115万人	143%
里山公園	32万人	19万	70万人	64万人	64万人	70万人	218%
河川環境楽園全体	448万人	452万	462万人	463万人	463万人	460万人	103%
花フェス	35万人	38万	38万人	43万人	43万人	49万人	140%

指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ：必要性が高い ：必要性が低い 	
(評価)	<p>県営都市公園に関する各種情報を集約した多言語ポータルサイトの存在は、公園利用者の利便性を向上させ、来園者の拡大ならびに周辺の地域資源への周遊を促進することにつながるため、本事業の必要性は高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている ：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ：効率化は図られている ：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<p>ポータルサイト運用開始後は、コンテンツの充実や随時情報更新を実施することで、タイムリーな情報を届けるとともに、サイトの見やすさや使いやすさに配慮する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>県営都市公園の魅力を継続して発信することで、来園促進を図っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	